

2019年度報告書  
宿泊機能をもつ

WAKUWAKUホーム事業





ありがとう  
ございました。



## 目次

03 はじめに

04 WAKUWAKUホームとは

05 利用者数及び、内訳

06 WAKUWAKUホームの日常

07 A君のこと

08 WAKUWAKUホームでのエピソード

10 WAKUWAKUホームについて、利用する子どもたちへのアンケート

12 イベント報告

15 おわりに

## はじめに

2013年8月に豊島子どもWAKUWAKUネットワーク(以下WAKUWAKU)はNPO法人の認証をとりました。設立趣旨書に「子どものシェルター」という文言が入っています。当時から、子どもが泊まれる場所が必要という認識はあったのだなあとと思います。

WAKUWAKUは、プレーパーク(遊びの場)を母体として生まれ、『要町あさやけ子ども食堂』は、子ども食堂が全国に広がる火付け役となりました。昨年の調査では子ども食堂は約4000カ所に広がっています。豊島区にも17カ所の子ども食堂ができ、うち4カ所はWAKUWAKUが運営しています。プレーパーク、子ども食堂、夜の児童館、学習支援など、さまざまなカタチの居場所を点在させ、子どもと家庭を支援してきましたが、子どもが泊まれる場所が必要との思いがふつふつと強くなっていきました。空き家が無償で貸してもらえないかと開設1年前から機会を見つけては、吹聴してきましたが、ついにそのような申し出はなく、しかし、WAKUWAKU的には最高のロケーションに、一軒家様の場所を見つけることが出来、2017年4月にオープンしました。

WAKUWAKUホームはシェルターではありません。保護者の了承のもとにお預かりしています。急な出張、緊急入院、鬱で食事が作れない・・・ そんな保護者のニーズに応じて柔軟に対応しています。思春期の子どもが「家に帰りたくない」と言ってやってくることもありますし、保護者の方から、子どもと距離をとりたいということもあります。ひとり親家庭が多く、「ちょっと預かってもらえる場所があると思うだけで精神的にとっても楽になれる」という声を聞きます。

WAKUWAKUホームの報告書、どうぞ最後までゆっくりお読みいただけると嬉しいです。

本事業は、子供の未来応援基金と赤い羽根福祉基金から助成を受けて運営しています。また、FITチャリティランからのご寄付がなかったら、立ち上げることが出来ませんでした。これらの関係者の皆さまに、心より感謝申し上げます。

WAKUWAKUホーム管理人 天野 敬子





## WAKUWAKUホームとは

宿泊機能をもつ子どもの居場所。利用料は無料である。貧困、疾病、障害、その他さまざまな理由から養育困難に陥る家族が地域に少なくない。市町村の対応窓口においても、児童相談所においても、全国的に児童虐待相談件数は増加の一途をたどっている。対応件数が増えてくると、重篤なケースを優先せざるを得なくなり、予防的介入はしにくくなる。

一方で、調子の悪い時にちょっと支えてくれる人がいれば、ちょっと預かってくれるところがあれば、危機を乗り越えていける家族もある。子どもを住み慣れた地域から引き離すことなく、安全に、地域で見守り育てていくために、地域住民にできることを提供するのがWAKUWAKUホームである。地域住民主体のNPOが、すべての子どものwellbeingをめざして、支援機関と連携しながら、貧困・虐待の連鎖を断つために活動している。

### 宿泊機能

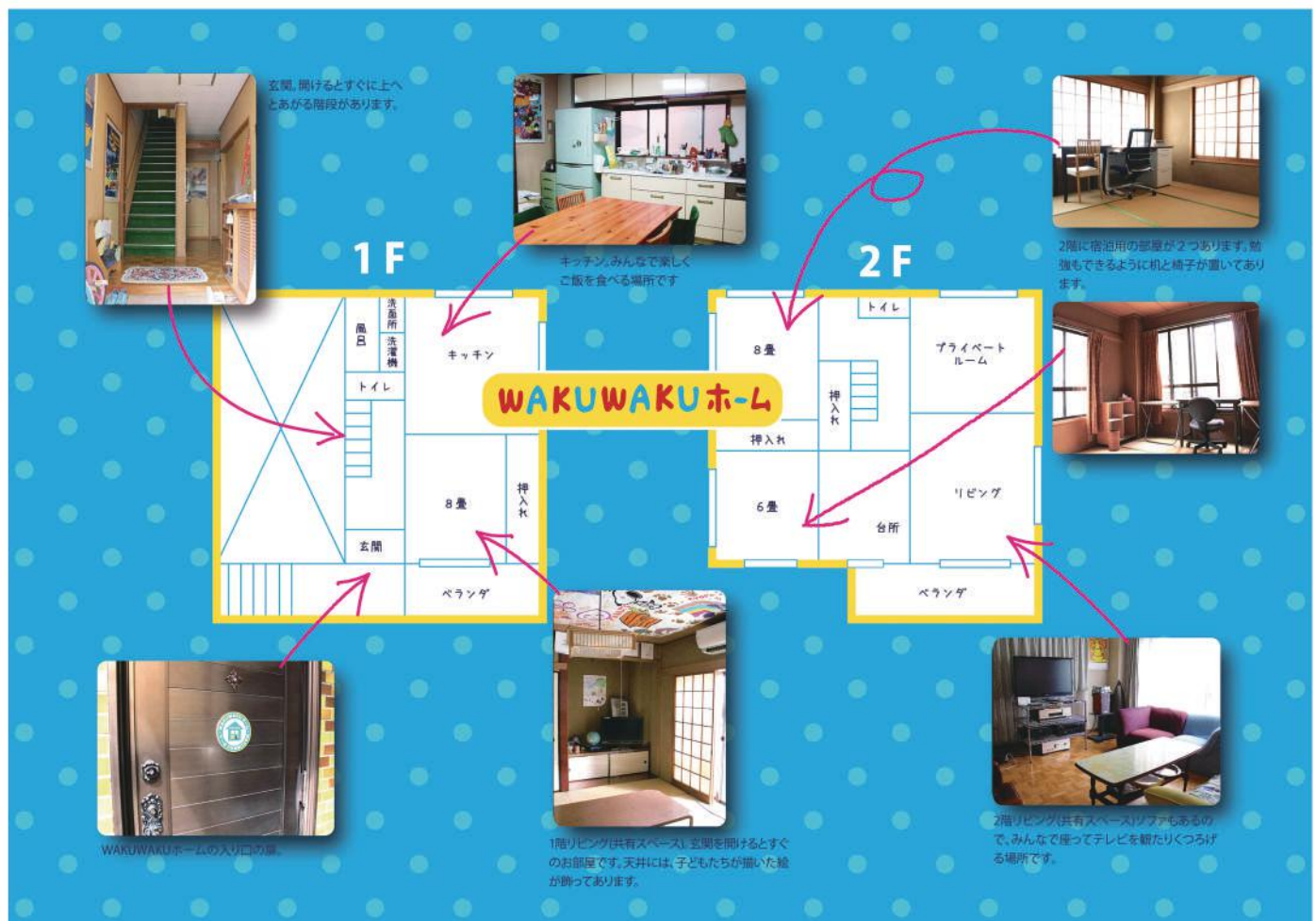
急な出張、緊急入院、今日は鬱で動けない、そんなさまざまな保護者の事情に応じて、柔軟に宿泊対応をしている。家に帰りたくないやってくる子どももいれば、子どもと距離をとりたいという親もいる。必ず保護者の了承のもとにお預かりしている。

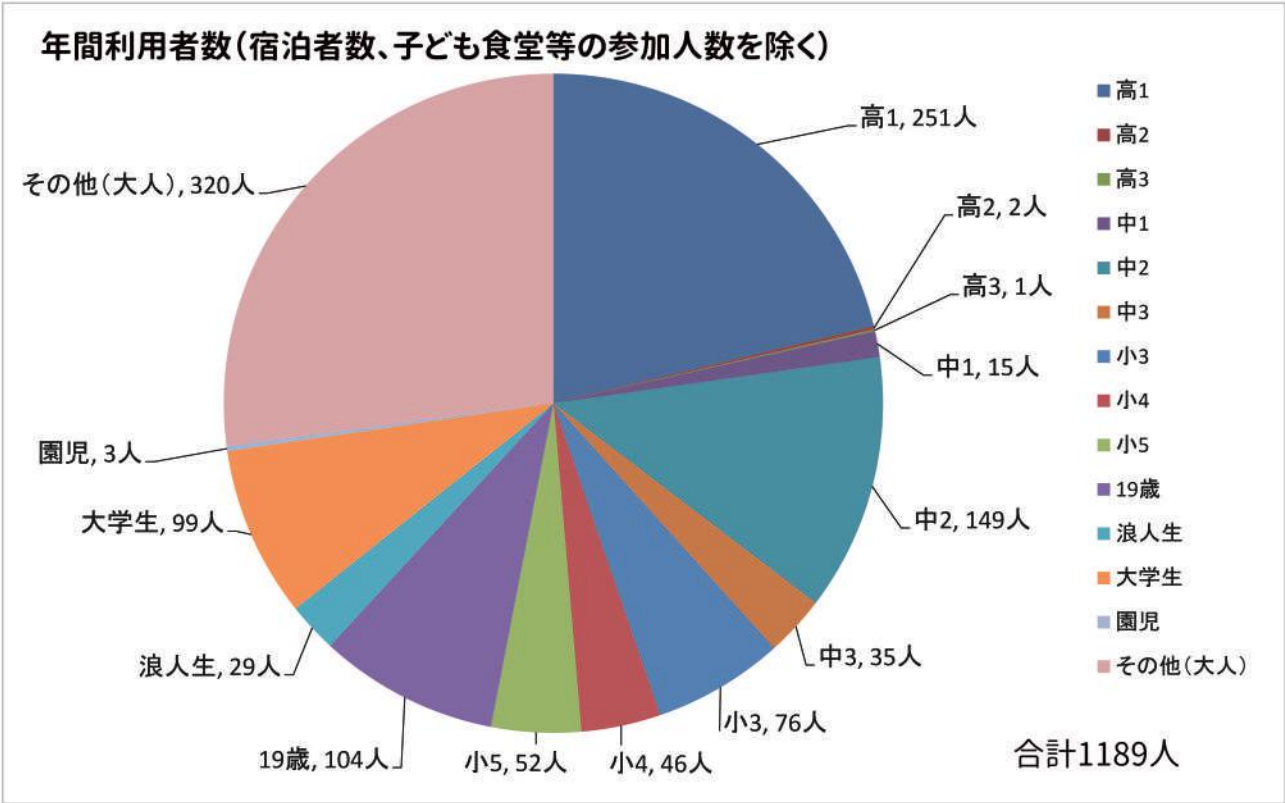
### 居場所機能

非常勤スタッフが勤務する水曜・金曜・土曜は、ホームをオープンにしている、地域の子どもたちが遊びに来る。勉強を教えてくれる学生ボランティアもいる。

### 相談機能

子どもと保護者の相談に随時応じている。





月別宿泊利用人数

| 4月          | 5月          | 6月          | 7月          | 8月          | 9月          |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 5人<br>(35泊) | 3人<br>(47泊) | 5人<br>(62泊) | 6人<br>(57泊) | 8人<br>(51泊) | 6人<br>(67泊) |
| 10月         | 11月         | 12月         | 1月          | 2月          | 3月          |
| 3人<br>(68泊) | 3人<br>(56泊) | 4人<br>(33泊) | 5人<br>(42泊) | 4人<br>(63泊) | 4人<br>(66泊) |

WAKUWAKUホームで行っているグループ活動

「いけいけ子ども食堂」 第一第三水曜日実施

勉強会のスタッフが主催し、毎回15名余りの子どもたちがやってきて、一緒に夕飯を食べる。主に、WAKUWAKU勉強会に通う中高生が利用している。年間利用者数・・・子ども343人 大人156人



子ども向けワークショップ 隔月第一日曜日実施

上手下手に関係なく自分の作りたいものを自由に創るアート系のワークショップ。不登校や発達障害、勉強が苦手な子どもたちの居場所となっている。毎回、4～6名程参加



しんぐるまざーず。ぽこあぼこの会 第四日曜日実施

シングルマザーさんの自助グループで、WAKUWAKUで支援してきたお母さんたちが立ち上げたグループである。当事者が力をつけて、当事者どうしで助け合っている。セカンドハーベスト(フードバンク)からの支援物資を配布している。毎回、10名程の参加

不登校の親の会 第二土曜日実施

共通の悩みをもつ者どうしなので、共感的受容的にお互いの話を聴くことができ、エンパワメントされて帰っていく。毎回、4～5名程参加



### 14:00～17:00頃 子ども達が来る

学校が終わってやってくる子や、不登校の子はこの時間を待ちわびていたかのようにやってきます。小学生から高校生など異年齢の子ども達が一緒に遊んだり、各々好きなことをやってすごしています。



### 17:00頃～ 夕食の準備

日によって変わりますが、だいたい12～13人前ほどの量の夕食を作ります。ときには子ども達に手伝ってもらい一緒に作ります。



### 18:30頃 みんなで夕食

大家族になった気分みんなで、卓を囲んでご飯を食べます。顔を合わせた、大人数の食事は会話もはずみ、自然と料理も美味しくなります。



### 19:30頃～21:00 遊んだり、勉強をしたりする子ども達

夕食後は、カードゲームをしたり、対戦型のTVゲームをしたり、楽器を演奏したり、語り合ったり、勉強を教えてくれる大学生と勉強をしたり、自由にすごします。

21時の帰宅時にはみんな名残惜しそうに帰っていきます。





## A君のこと

---

A君は特別支援学校高等部3年生です。昨年の3月に、お母様が緊急入院されて、学校側で一人で暮らしていることを把握しました。終業式まであと1週間。児童相談所に保護されると学校に通えなくなってしまうので先生から依頼され、WAKUWAKUホームでお預かりしました。たまたま私が知っている地域の子でした。

通常は一時保護から施設入所になりますが、障碍のある高校3年生の男の子を受け入れてくれる施設を探すのは大変です。しかも、遠方の施設に行く可能性も高く、そうすると、家も変わり、学校も変わり、地域も変わってしまいます。彼にとってあまりにも環境の変化が大きすぎます。WAKUWAKUホームに一時保護委託から里親措置をしてほしいと児童相談所に申し入れたところ、願いが叶いました。

児童相談所の担当の方は、電話をかけてくるたびに「これはレアなケースですから」と前置きをされました。同じ地域の家庭に里親措置をするということをこれまでやってきていないのです。しかし、保護される子どもの中には、同じ地域で同じ学校に通える方が幸せな場合がたくさんあります。今回のように親から切り離す必要がない場合もあります。「レアなケース」から「当たり前」にしていきたいと強く思います。

A君は、WAKUWAKUホームに来た頃はおとなしく、声を出さずにくくくっと笑う子でした。ところが、ホームでたくさん子どもやおとなや学生と交流するうちに、大きな声で笑うようになりました。ドリフターズが好きな彼は、いろいろユーモラスな行動をしてくれるようになりました。朝、学校に行くときに、わざと鍵がかかっているドアを押してみたり、のぞき窓で中から外をのぞいてみたり……。彼がホームにいることで、場がなごむことがしばしばあります。

4月から彼は社会人です。特例子会社に就労が決まり、通勤寮から通うことになります。毎日、仕事をするのは大変なこともあると思います。でも、土曜日には、大好きな水島さんと子どもたちがいるホームに遊びに来ることでしょう。



## WAKUWAKUホームでのエピソード

6月7日、P君がうれしい報告にやってきた。なんと、エジンバラのパブリックスクールに留学するというのだ。P君は、母子家庭。以前、お母様が入院中にホームであずかったことがある。大学進学をめざして勉強していたが、大学の授業料を払う余裕がなく、どうしたものかとあれこれ考えていた。

ダメ元で申請したら、面接があって合格したというのだ。もちろん、これまでのP君の努力があったからこそである。そのスカラシップは5年間支払われるので、1年間パブリックスクールで勉強した後、イギリスの大学に進学することになるそう。そんな夢みたいなことを自分のものにする子がいるんだなあともちらもWAKUWAKUうれしくなった。

その日、ホームに集った子たちで、なぜか腕相撲をやりだし、P君はホームに泊まっているA君に負けて苦笑い。ホームは笑いに包まれた。



A君は特別支援学校に通っている。母子家庭でいつもお母さんとケンカをしていたという。お母さんが入院されたのでホームで預かることになった。障害のある子たちは閉ざされた世界で過ごしていることが多い。学校から帰ってきてても自由に外出できないので、家にいることになる。最近は放課後等デイサービスがたくさんできたが、そこは障害のある子だけが利用できる。しかし、WAKUWAKUホームは障害のある子もない子もやってくる。A君の世界は格段に広がった。大学生

や水島さんとの関わりも日を重ねるにつれ深くなり、わがままを言って困らせたり、いろんな子どもたちと一緒にみんなでゲームをしたり・・・半年を過ぎたころから、語彙数がすごく増えた。何かを問いかけたときに、ちゃんと言葉が返ってくるようになった。これはひとつの奇跡だと思う。

毎日、大きな声で笑うようになったA君。A君の笑い声を聞いて、私も周りの子たちも幸せになれる。

今年度になって、不登校・ひきこもりの子どもの利用が増えてきた。ずっと家にいた子が、ホームには行きたいと雨が降ってもやってくる。一番の魅力はホームでいろんなゲームが出来ること。スタッフの水島さんはゲームとともに育った世代で、家から不用になったゲーム機を持ち込んだ。スーパーファミコンに始まり、キューブ、wii、スイッチまで。ゲームの力はすごいなあと思う。彼らは家でゲームの腕を相当に磨いてきている。ここでつわもの同士が闘える。ネットゲームが出来る時代であっても、やはり生身の人間が集まってやる方が楽しい。なんと、ホームは8人まで一緒にゲームが出来る。年齢に関係なく男女に関係なく学校に行ってるかどうかなんて関係なく、みんなで楽しい時間を共有できる。そこには優しい空気が流れている。この中から将来、プロのゲーマーが誕生するかもしれない。それはもはや夢物語ではない時代である。





Bちゃんがお泊りすると賑やかで笑いが耐えない…。いけいけ子ども食堂をやっている吉田さんが、お土産をもって夜にやってきた。「秋田犬のふん」というタイトルのクッキーをお風呂上りのBちゃんが見つけ、さっそく数えだし12個あるという。家にいたのは、BちゃんとA君とCさん、そして私。

ひとり何個だろうといい、Cさんが「12割る4は？」と聞くと、う〜んと考えた後「3」「すごい！割り算できたね」と褒められ、Bちゃんはニコニコ。さっそく2個食べて、Cさんにもすすめる。そこへA君が降りてきて、めざとく見つけ、Bちゃんに「一人3個だよ」と言われる。3個とってもぐもぐ。あつという間に食べてしまう。私が「裕さん(夫)の分がないね」というと「天野さんが2個にすれば、1個裕さん。Cさんも2個にすれば、裕さんも2個になる」と自分の分を譲る気はない。そんな話をしているうちに、ふとみるとまた減っている。A君がこっそり食べてしまったのだ。そうこうしているうちに、Bちゃんも食べてしまい、私が食べないうち2個になってしまい、え〜んと泣きまねをしたら、みんなで大笑い。



## 食の力

ちゃんにご飯を食べさせてもらってないと、子どもの胃袋は小さくなってしまふ。低身長で細い高校生のA君。食べ盛りのはずなのに、ホームでご飯を食べるときも一人前が食べきれず…日々は給食が命綱だ。中高生のための児童館の職員が、長期休みは毎日、ご飯を食べさせてくれている。高校を卒業したら、自立できるといいね、と支援者たちは思っている。



「爪が伸びてきた」ホームに1か月滞在した女の子が言った言葉だ。彼女はやせてはいない。お菓子をご飯代わりに食べてきた。「ウチの家族は野菜を全然食べないんだよね、みんなよく病気にならないなあ…」

ホームに遊びに来た子が冷蔵庫を開けて「うわあ〜、いろんなものが入っているね。ウチはケチャップとマヨネーズだけだよ」その子のウチはお母さんが一切料理をしないようだ。

偏った食事、栄養バランスの悪い食事、不規則な食事、食は子どもの成長に大きな影響を及ぼす。ただ単に、おなかを満たすだけでなく、手づくりの料理をみんなでワイワイ食べることで、おなかと共に、心が満たされていく。

手づくりの料理は、うまい下手はあるが、そこに作っている人の心がこもっている。子ども食堂の料理が美味しいのも同じだ。食の力は絶大である。けっしておろそかにしてはいけないものなのだと、つくづく思う。

虐待を受けて育った子がホームにやってきた。お父さんがいつ怒鳴り出すか分からない環境で耐えて耐えて生きてきた。「どんな食べ物が好き？」と聞いても特になという。「苦手なものは？」と聞くと、「トマトかな、でも食べれます」という。そんな彼女が数日たって「私、食事のとき緊張してしまうんです」と話してくれた。兄弟姉妹はいるのだが、一家団欒、わいわいご飯を食べるという状況とは全然違っていたのだろう。「もう家には絶対戻りません」彼女の決意は固い。どこかはかなげな彼女。ここにいる間に、たくさん食べて、これから自分の人生を取り戻してほしいと切に思う。



## WAKUWAKUホームについて、利用する子どもたちへのアンケート

◎WAKUWAKU ホームはあなたにとってどんなところですか？

色々な人々と楽しくすごせる場所

◎ホームで印象に残っていることは何ですか？

楽しく過ごしている時間

おいしいごはん

個性的な人々

19歳

◎WAKUWAKU ホームはあなたにとってどんなところですか？

人との繋がりを手繋ぐ場所

◎ホームで印象に残っていることは何ですか？

みんなで食卓を囲むこと

高校3年生

◎WAKUWAKU ホームはあなたにとってどんなところですか？

私にとってホームはいつでも帰ってききたい居場所のよう存在です。普段、学生の私達は学校と家庭という2つの居場所をもっていますが、学校にも家庭にもいはいないところ、いたくたれと感ぜるときは居場所を見つけるのは難しいです。しかしこのホームには色々な人々も居るから、いつでも安心して帰ることができる気がします。皆がご飯を食べたり、勉強をしたり、遊んだり、気兼ねなく過ごせる大切な場所です。

◎ホームで印象に残っていることは何ですか？

一つ目は、皆が楽しくご飯を食べたりしていることです。皆がご飯を作り、食べて、おしゃべりすること、1つの間にみんなが仲良く感じます。二つ目は、子供達が様々な種類の遊びを体験していることです。プログラミング教室だったり、絵を描いたり、工作をしたりと、学問的なものから芸術的なものまで、色々なことに挑戦する貴重な機会がホームにはあると感じます。他にも子供も安心して遊んでいます。

大学2年生

◎WAKUWAKU ホームはどんなところですか？

ご飯がおいしい。

友達が多い。

Wi-Fi もあるところ。

◎ホームで印象に残っていることは何ですか？

たまにゲーム。

遊ぶこと。

ご飯

19歳



## 「WAWAKUWAKUホームを利用する保護者へのアンケート」

◎WAKUWAKUホームはあなたにとってどんなところですか？

- ・子どもを安心して任せられる信頼できる場所。特に不登校や心が病んでしまったようなときに子ども自身も安心して居られるシェルターなのかもしれません。
- ・ホッとできる場所です。この場所は、温かい雰囲気があり、子どもが安心していれる場所です。
- ・子どもがのびのびとありのままに居られる場所。自由がゆるさる場所。親にとって、安心安全な場所。本当に助けられ支えられて守っていただき感謝しかありません。



ホームは私にとって...

自分らしくいられる場所

おいしいご飯とやさしい人がいて、

心が温かくなる場所  
新しい出会いがある場所

ホームで印象に残っていること...

みんなでゲームをしたこと

みんなとそうごうしたこと

中学2年生

◎WAKUWAKU ホームはあなたにとってどんなところですか？

一週間のうち、約3日だけたけなわとして  
たきねさかてきて、とても楽しい場所!!

◎ホームで印象に残っていることは何ですか？

・みんなであそんだこと

・いろんなひいきがあること

・ご飯が食べられること

高校1年生

◎WAKUWAKU ホームはあなたにとってどんなところですか？

家と似ているけれど、違う安心感があると思っ

ています。相談ではなくて、話を聞いて欲しい時など

静かに受けとめてくれるので、自分の中で、「話を聞いてくれる

人がいる」という、心の支えの1つになっています。

◎ホームで印象に残っていることは何ですか？

ホームに来るようになってから、いつもテレビの前で集まって

ゲームしている様子を見ているのが日常になったけれど、

3月の後半から、分散して活動するようになったのが、最近だと

特に印象に残っています。

高校1年生

◎WAKUWAKU ホームはあなたにとってどんなところですか？

まじまじとすごく楽しいところです。

ゲームもいっぱいあるし、ごはんもおいしいし、

とまってもいいし、みんなやさしいので(自分もふくむ)

すごくいいところであ

◎ホームで印象に残っていることは何ですか？

さっき言ったように、すごく楽しいところが印象に残っています。

・とにかくゲームが楽しいです(こぼれ話)

みんなもいっしょにゲームしてくるので、こぼれ話にのりこ

と、言った事らっしょにさせてくれますよ!

中学2年生

◎WAKUWAKU ホームはあなたにとってどんなところですか？

事情があり、自宅に帰りたくない時や

一人になりたい時などに、心を休められる場所。

誰かと一緒に食事が出来る場所。

◎ホームで印象に残っていることは何ですか？

皆で団欒して食事をしたり、カードゲームなどを  
した事。

沢山の人と関わった事。

中学3年生



◎ホームで印象に残っていることは何ですか？

・周りに頼りになる人がいないなか、深刻な悩みや困っている悩みを親身に聞いてくれたこと。

・いつホームに訪れても同じ雰囲気があること。天野さんの雰囲気と空間に皆、落ち着くのだと思います。

・小学4年の5月ごろから不登校になった息子、どこにも出かけられずずっと家に閉じこもっていました。初夏にホームを知り出かけるようになったときは、来る日も来る日も何かに取りつかれたように通っていきました。酷暑の日も大雨の日でさえもです。何がそうさせるのか私には不思議でたまりませんでした。ある日ホームの中にいる彼と他の子どもたちとの光景を見たとき驚いたのを鮮明に覚えています。ホームの中にいる彼は(ほかの子供も含めて)なんと穏やかな表情をし幸せに満ち溢れた顔をしているんだろうと。この光景は脳裏に焼き付いて忘れません。天国や理想郷ってこういう空間なのかもしれないと、大げさかもしれないけど考えさせられました。



## イベント報告

### “WAKUWAKUホーム”増殖計画 Vol.1～3 「あなたも家を開いてみませんか？」後援：豊島区

#### 第1回 2019年8月3日「“WAKUWAKUホーム”増殖計画 Vol.1」

##### ①「地域の子どもを地域で見守り育てるために～WAKUWAKUホームの実践より～」

天野 敬子氏(豊島子どもWAKUWAKUネットワーク/精神保健福祉士)

2017年4月にWAKUWAKUホームを立ち上げて、2年間の実践を通しての経験をお話しました。

##### ②「こんなにある！子どもと家に関わる選択肢について」

千葉 彩氏(一般社団法人RAC代表理事/東京大学院・客員研究員)

ショートステイや里親の普及啓発活動を行う活動についてお話してもらいました。

##### ③ グループディスカッション及び質疑応答

①、②の発表を聞いて参加者間で、4人のグループに別れて「思ったこと」「聞いてみたいこと」を共有しました。

その後、グループの中で登壇者2名に対して特に質問したいものを質問してもらいました。

(参加者：29名。集計したアンケートで、とても良かったが17人、良かったが6人、あまり良くなが1人)



#### 第2回 2019年11月23日「“WAKUWAKUホーム”増殖計画 Vol.2」

##### ①「地域の子どもを地域で見守り育てるために～WAKUWAKUホームの実践より～」

天野 敬子氏(豊島子どもWAKUWAKUネットワーク/精神保健福祉士)

2017年4月にWAKUWAKUホームを立ち上げて、2年間の実践と前回と違った視点から最近の出来事を含めてお話しました。

##### ②「子育てしやすい街づくりあなたも参加してみませんか」

安藤 茎子氏

(NPO法人特別養子縁組支援グミの会サポート理事長／東京都養育里親・専門里親／豊島区子どもショートステイ委託家庭)

里親として実際に養子の子を育てている安藤さんは、「一人でも多くの子に温かい家庭で育ててもらいたい」と強く願い、「グミの会」で養親と養子に寄り添う支援を積極的に行っていました。その経験をもとにお話ししてもらいました。

##### ③ グループディスカッション及び質疑応答

参加者間で、何人かのグループに別れて意見を共有しました。

(参加者：25名。集計したアンケートで、とても良かったが17人、良かったが2人)

#### 第3回 2020年2月11日「“WAKUWAKUホーム”増殖計画 Vol.3」

##### ①「地域の子どもを地域で見守り育てるために～WAKUWAKUホームの実践より～」

天野 敬子氏(豊島子どもWAKUWAKUネットワーク/精神保健福祉士)

前回に引き続き、WAKUWAKUネットワークの概要、2017年4月にWAKUWAKUホームを立ち上げて、2年間の実践を最近の出来事を含めてお話しました。

##### ②「子どもの育ちを地域で支えるには-抱え込んだり助けられるよりもシェアする子育てに-」

早川 悟司氏(児童養護施設「子どもの家」施設長)

施設長として携わっている「子どもの家」での活動や、社会的擁護の現状と背景から子どもの貧困や地域の在り方に関してのお話をしてもらいました。

##### ③ グループディスカッション及び質疑応答

参加者間で、何人かのグループに別れて意見を共有しました。

(参加者：46名。集計したアンケートで、とても良かったが26人、良かったが9人)

#### 「参加者から頂いたアンケートより」

「WAKUWAKUホームやショートステイなど従来の枠組みにしばられない支援のカタチがあることを知り参考になりました」

「いきなり家を開いたり里親をしたりは難しいですが、子どもと関わりながら自分ができることをみつきたいです」

「良いイメージがなかった養護施設の本音を聞くことが出来たと思います。ぜひ地域とつながる、施設を豊島区に作って欲しいです。応援しています」

「自宅を開いて夜の子どもの居場所づくりをしたいと考えていましたが、今一歩踏み出せずに来ましたが、今日は一歩踏み出す“きっかけ”をいただきました。」

全3回を通じて様々なご意見がありました。継続的にこのような会を開くことで、WAKUWAKUホームの取り組みが認知され、地域に広がっていくよう今後も継続して活動していきます。



## 地域の子どもを地域で見守り育てるために ～WAKUWAKUホームの実践より～

NPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク  
事務局長 天野敬子(精神保健福祉士)



1

## 池袋本町プレーパーク

- 1943年デンマークで始まり、日本では世田谷の羽根木プレーパークから始まりました。
- 「火、水、土、木」を使って、子どもが自由に自発的に遊びを創出できる場です。  
木登り、泥んこ遊び、たき火、水遊び、木工などなど・・・
- プレーリーダーが常駐し、危険がないか見守るとともに、子どもの「おもしろそう」「やってみたい」を引き出す役目をする。



3

## 「子ども食堂」

- 子どもが一人でも入れる食堂です。
- わいわいがやがやみんなでご飯を食べます。
- 栄養バランスのよい夕食を食べられます。
- 月2回 ● 4カ所運営



5

## 居場所の点在化

地域と子どもがつながる場

孤立しがちな家庭が地域とつながる場

地域の交流拠点としての可能性



7

## ホームスタート

イギリスで始まった取り組み  
先輩ママが子育て中のママを訪問支援  
お話をしたり、一緒に散歩をしたり・・・  
利用料は無料



孤立を防ぎ、虐待予防につながる



9

## 豊島子どもWAKUWAKUネットワーク 地域を変える/子どもが変わる/未来を変える

「子どもの貧困」をテーマに地域の子どもを地域で見守り育てることをコンセプトとして活動する地域住民主体のNPOである。

- ・遊びサポート・・・池袋本町プレーパーク
- ・学びサポート・・・無料学習支援「池袋WAKUWAKU勉強会」
- ・暮らしサポート・・・「要町あさやけ子ども食堂」「ほんちよこ食堂」「椎名町こども食堂」「池袋こども食堂」「夜の児童館」「ホームスタート」「WAKUWAKUホーム」「豊島パントリーピックアップPROJECT」



2

## 無料学習支援 「WAKUWAKU勉強会」

- 大学生と地域住民で、宿題を中心に子どもの勉強のお手伝いをする
- 勉強を教えるだけでなく、子どもとの信頼関係をつくることを大事にしている
- 夏には飯能河原でバーベキューハロウィン、クリスマスにミニイベントを実施



4

## 「夜の児童館」の活動

日時: 毎火曜日 16:00～20:00  
会場: 金剛院・蓮華堂(椎名町駅前)  
内容: 孤食の子どもたちを対象としている。  
登録制。  
宿題をしたり、遊んだり、手づくりの夕食と一緒に食べる。  
同じ子どもたちを同じスタッフが迎え、家庭的な時間を提供する。



6

## 居場所のネットワーク化

〇としま子ども学習支援ネットワーク(とこネット)  
15団体以上の無料学習支援  
社会福祉協議会が事務局

〇としま子ども食堂ネットワーク(とこ食ネット)  
14カ所の子ども食堂  
豊島区子ども若者課が事務局



8

## 豊島パントリーピックアップPROJECT

シングルで子育てをされているパパやママを応援するために、子育てに必要な「食」を支援する取り組み。

会場に直接お越しいただき、ご自身で必要な食品を自由に選び、無料でお持ち帰り頂くというものです。



10





## 「WAKUWAKU入学応援給付金」

|       |         |
|-------|---------|
| 高校入学  | 4万円×40名 |
| 中学校入学 | 1万円×20名 |
| 小学校入学 | 1万円×20名 |
| 合計    | 200万円   |

厳正な審査のもとに決定  
給付金をお渡しするときにヒアリング



11



## ひとり親家庭の子育ては大変

- ◎急に出張になってしまった。
- ◎緊急入院することになった。
- ◎今日は鬱で食事を作れない。
- ◎これ以上子どもといると叩いてしまいそう。
- ◎家に帰りたくない(子ども)⇔子どもと距離をとりたい(親)



13



## WAKUWAKUホームの必要性

- ◎子どもが安心して泊まれる。
- ◎地域や学校から切り離されない。
- ◎家庭とも行き来ができる。



15



## 宿泊支援

### フォーマルな支援システム

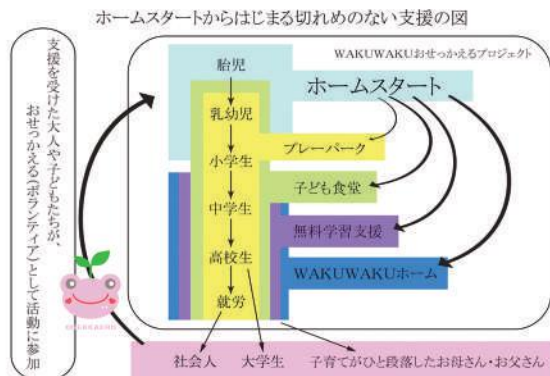
- ◎地域の里親に委託(短期里親、一時保護委託)
- ◎ショートステイ事業

### インフォーマルな支援システム

- ◎WAKUWAKUホームのようなお家(親戚のお家)を地域に点在させて、マッチングをする。



17



19



## WAKUWAKUホーム

- 宿泊支援:子どもが泊まれる場所
- 居場所の提供:学習支援、遊びの支援、食の支援
- 相談支援

地域の子どもの地域で見守り育てるために  
一時的にあずかれる場所が必要



12

※赤い羽根福祉基金、子供の未来応援基金  
の助成を受けて運営しています。



## 実例 WAKUWAKUホームの奇跡

A君 中学3年生 母子家庭

- ◎いろいろなおとなとの関わり  
水島さん(ホームのスタッフ) Dさん(大学生) 裕さん(夫)
- ◎いろいろな仲間との関わり  
ゲーム、ラップ、みんなでご飯⇒身長が伸びた
- ◎親子関係の自然な修復



14



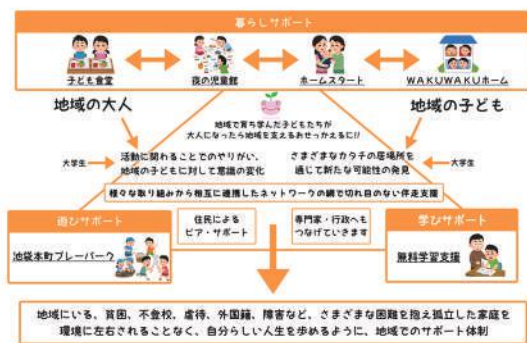
## 児童相談所の一時保護所の問題点

- ◎学校や地域から切り離されてしまう。  
家の環境は悪くても、学校や地域にサポートされているケースはたくさんある。
- ◎性的虐待や命に関わる身体的虐待の場合は、すぐに保護されるが、保護所が常に満杯という現状があり、保護してほしいと保護してもらえないことがある。
- ◎ネグレクトとよばれる虐待の場合は、本人が保護してほしいと言わなければ、なかなか保護してもらえない。
- ◎一時保護所に入るときに、私物を一切持ち込めない。規則も厳しい。



16

## WAKUWAKUおせっかいプロジェクトの概要



18



## 「貧困・虐待」の連鎖から「おせっかい」の連鎖へ



20



## おわりに

日々、さまざまなドラマがありました。短期にあずかることを想定して創りましたが、長期に預からざるを得ないことが毎年おきています。ホームがあって良かったと思える事例が、年々増えています。

今年度は「あなたも家を開いてみませんか？」というタイトルでWAKUWAKUホーム増殖計画と題し、3回のイベントを試みました。地域の子どもを地域で見守り育てるために、家を開いてくださる方を増やしたいと思っています。たとえば、週に1回一緒にご飯を食べる、お風呂入っていきなよと声をかけてもらう、長期休みにお泊りできる、そんな親戚のお家のように頼れる家があったら、子どもはゆとりをもって育つことができます。親も安心して子育てができます。

私が想定しているのは60代70代のご夫婦です。仕事も一段落、子どもも巣立って部屋が余っている、そんなお家に近所の一人の子どもがやってきて、お互いに豊かな時間を紡ぎだすのです。毎日は大変です。週に1回でよいのです。子どもの成長を見守ることは大きな喜びにつながると思います。

少子化の時代です。子どもは大切な存在です。子育てを地域でシェアしましょう。子ども食堂は、「要町あさやけ子ども食堂」が誕生したときには夢にも思わなかった展開をしています。全国の子どもが地域の大人と出会う場となっています。子どもを中心に地域がつながり、すべての人の笑顔が増える、そんな社会になることを願っています。

WAKUWAKUホーム管理人 天野 敬子







みんなが帰ってこられるHOMEになれば  
そんな願いを込めて...

WAKUWAKUホームは、以下の支援を受け実施しています

社会を良くするたしかな一歩



子供の未来応援基金 <未来応援ネットワーク事業>



赤い羽根  
福祉基金

赤い羽根福祉基金 <子ども家庭支援部門>

団体名  
住所  
TEL  
E-mail  
Webサイト

特定非営利活動法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク  
〒171-0014 東京都豊島区池袋三丁目52番21号  
090-3519-3745  
info@toshimawakuwaku.com  
https://toshimawakuwaku.com

